

平成21年8月期 第3四半期決算短信

平成21年7月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 コシダカ

コード番号 2157 URL <http://www.koshidaka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 酒井 幹雄

TEL 027-280-3381

四半期報告書提出予定日 平成21年7月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第3四半期の連結業績(平成20年9月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第3四半期	13,827	—	1,018	—	967	—	404	—
20年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
21年8月期第3四半期	16,841.13	—
20年8月期第3四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
21年8月期第3四半期	10,359	2,534	24.5	105,539.33
20年8月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 21年8月期第3四半期 2,534百万円 20年8月期 1百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
20年8月期	—	—	—	3,600.00	3,600.00
21年8月期	—	1,900.00	—	—	—
21年8月期(予想)	—	—	—	1,900.00	3,800.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年8月期の連結業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	19,087	—	1,473	—	1,416	—	516	—	21,500.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|---------|-------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年8月期第3四半期 | 24,000株 | 20年8月期 | 24,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年8月期第3四半期 | 一株 | 20年8月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年8月期第3四半期 | 24,000株 | 20年8月期第3四半期 | 24,000株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、数値並びに対前期増減率については記載しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融不安に端を発した欧米経済の低迷を背景とした輸出の減少が、国内需要の減退にまで波及し、景気低迷を長期化させております。そして、大規模な減産が行なわれるなどの企業部門の不振を受け、雇用・所得環境も悪化したため家計部門においても個人消費の低迷が続いております。また、在庫調整の一巡により景気下げ止まりの兆候が一部に見られるものの、景気の新たな牽引役は見当たらず、本格回復は期待しがたい状況にあります。

当社グループの中核であるカラオケボックス業界では、消費者の娯楽ニーズの多様化と若年層人口の減少の中で、市場需要規模は緩やかな縮小傾向にあり、供給面では小規模カラオケ店及び中小カラオケチェーン店の廃業・縮小が相次ぐ一方で、大手チェーン同士の競合は激しくなりつつあります。

このような経済情勢と事業環境の中で、カラオケ事業部門は当第3四半期連結累計期間において「カラオケ本舗まねきねこ」を「居抜き出店方式」にて20店舗及び「建築出店方式」にて5店舗、合計25店舗の新規出店を行いました。同時に、店舗網の効率運営を図るために、「カラオケ本舗まねきねこ」9店舗の閉鎖を行いました。その結果、当第3四半期連結会計期間末では、カラオケ事業部門の店舗数は43都道府県293店舗となり、第3四半期連結累計期間の売上高は11,740百万円、営業利益は991百万円となりました。

カーブス事業部門は、同事業を主体的に取り組むことを目的に、日本におけるフランチャイズ（以下、「FC」という。）本部である株式会社カーブスジャパンの全株式を、当社の子会社である株式会社カーブスホールディングスが平成20年10月22日に取得し、当社の連結子会社としてFC本部事業を取り込み、推進しております。FC本部事業の本格的な取り組みとして、FC加盟事業者の新規開発、店舗スタッフ研修、開店直後の店舗立ち上げ支援、FC事業者・スタッフの組織化、及び不振店対策としての業績改善プログラムの導入と会員数増強支援活動などに注力してまいりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末では、カーブス事業部門の加盟店舗数が47都道府県729店舗、会員数は223千人となり、第3四半期連結累計期間の売上高は2,087百万円、営業利益は27百万円となりました。

（注）当第3四半期連結累計期間は連結初年度にあたるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の記載は行っていません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は3,572百万円となりました。これは主に現金及び預金2,272百万円、受取手形及び売掛金388百万円によるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は6,786百万円となりました。これは主に有形固定資産4,056百万円、のれん1,358百万円、敷金及び保証金831百万円によるものであります。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は4,390百万円となりました。これは主に短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金1,547百万円、預り金810百万円によるものであります。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は3,427百万円となりました。これは主に長期借入金3,403百万円によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は2,542百万円となりました。この結果、自己資本比率は24.53%となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比較して1,303百万円増加して2,072百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益822百

万円、減価償却費1,073百万円、のれん償却額150百万円を主な要因として2,085百万円の資金増加となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,828百万円、子会社株式の取得による支出1,737百万円、定期預金の減少額293百万円を主な要因として3,465百万円の資金減少となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額117百万円、長期借入れによる収入3,830百万円、長期借入金の返済による支出942百万円、配当金の支払額132百万円を主な要因として2,684百万円の資金増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社の中核であるカラオケボックス事業は、売上及び利益の面での季節的な変動が大きく、忘年会シーズンを含む第2四半期（12月から2月まで）、ゴールデンウィーク（4、5月）を含む第3四半期（3月から5月まで）、及び帰省盆休みシーズンを含む第4四半期（6月から8月まで）と比較して、第1四半期は売上、利益ともに低水準となる傾向があります。

平成21年8月期の業績予想につきましては、本日（平成21年7月8日）別途開示しております「平成21年8月期連結業績予想及び通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、配当につきましては、平成21年2月9日付「平成21年8月期第2四半期末及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」における1株当たり予想配当金（中間：1,900円00銭、期末：1,900円00銭）から、現時点での変更はありません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②法人税等の算定方法

法人税等の算定方法は、課税所得の計算における加減算項目及び税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
 (平成21年5月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,272,844
受取手形及び売掛金	388,875
商品	255,090
原材料及び貯蔵品	90,470
その他	575,927
貸倒引当金	△10,280
流動資産合計	3,572,928
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	2,207,648
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	1,340,152
土地	508,418
有形固定資産合計	4,056,220
無形固定資産	
のれん	1,358,776
ソフトウェア	246,587
その他	4,065
無形固定資産合計	1,609,429
投資その他の資産	
敷金及び保証金	831,952
その他	292,385
貸倒引当金	△3,248
投資その他の資産合計	1,121,090
固定資産合計	6,786,739
資産合計	10,359,668
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	386,657
短期借入金	167,000
1年内返済予定の長期借入金	1,380,770
未払法人税等	260,445
賞与引当金	113,752
預り金	810,536
その他	1,271,083
流動負債合計	4,390,245
固定負債	
長期借入金	3,403,738
その他	23,587

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年5月31日)

固定負債合計	3,427,325
負債合計	7,817,570
純資産の部	
株主資本	
資本金	493,600
資本剰余金	483,600
利益剰余金	1,556,955
株主資本合計	2,534,155
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△1,211
評価・換算差額等合計	△1,211
少数株主持分	9,153
純資産合計	2,542,097
負債純資産合計	10,359,668

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)
売上高	13,827,651
売上原価	10,530,644
売上総利益	3,297,007
販売費及び一般管理費	2,278,968
営業利益	1,018,039
営業外収益	
受取利息	1,759
受取配当金	85
協賛金収入	40,493
その他	61,757
営業外収益合計	104,096
営業外費用	
支払利息	44,137
支払手数料	79,000
その他	31,674
営業外費用合計	154,812
経常利益	967,323
特別利益	
固定資産売却益	16
特別利益合計	16
特別損失	
減損損失	130,640
その他	14,572
特別損失合計	145,213
税金等調整前四半期純利益	822,126
法人税、住民税及び事業税	427,955
法人税等調整額	△17,170
法人税等合計	410,785
少数株主利益	7,153
四半期純利益	404,187

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)
売上高	5,131,870
売上原価	3,727,011
売上総利益	1,404,859
販売費及び一般管理費	915,722
営業利益	489,136
営業外収益	
受取利息	215
受取配当金	38
協賛金収入	25,221
その他	39,151
営業外収益合計	64,628
営業外費用	
支払利息	15,730
その他	4,218
営業外費用合計	19,949
経常利益	533,815
特別損失	
固定資産除却損	4,013
減損損失	71,901
特別損失合計	75,914
税金等調整前四半期純利益	457,901
法人税、住民税及び事業税	211,195
法人税等調整額	1,584
法人税等合計	212,780
少数株主利益	6,848
四半期純利益	238,272

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	822,126
減価償却費	1,073,938
減損損失	130,640
のれん償却額	150,975
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21,452
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,762
受取利息及び受取配当金	△1,845
支払利息	44,137
有形固定資産売却損益 (△は益)	△16
売上債権の増減額 (△は増加)	10,946
たな卸資産の増減額 (△は増加)	35,678
仕入債務の増減額 (△は減少)	63,659
その他	232,153
小計	2,582,083
利息及び配当金の受取額	1,830
利息の支払額	△41,170
法人税等の支払額	△457,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,085,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,828,212
有形固定資産の売却による収入	200
無形固定資産の取得による支出	△64,399
子会社株式の取得による支出	△1,737,454
敷金及び保証金の差入による支出	△78,178
敷金及び保証金の回収による収入	6,576
貸付けによる支出	△64,257
貸付金の回収による収入	4,660
定期預金の増減額 (△は増加)	293,714
その他	1,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,465,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	117,000
長期借入れによる収入	3,830,000
長期借入金の返済による支出	△942,091
配当金の支払額	△132,000
担保提供預金の増減額 (△は増加)	△148,508
その他	△40,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,684,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年9月1日
至平成21年5月31日)

現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,303,976
現金及び現金同等物の期首残高	768,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,072,164

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間（自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）

	カラオケ事業 (千円)	カーブス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,025,509	1,106,360	5,131,870	—	5,131,870
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	4,025,509	1,106,360	5,131,870	(—)	5,131,870
営業利益	487,119	2,016	489,136	(—)	489,136

当第3四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成21年5月31日）

	カラオケ事業 (千円)	カーブス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	11,740,471	2,087,180	13,827,651	—	13,827,651
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	11,740,471	2,087,180	13,827,651	(—)	13,827,651
営業利益	991,015	27,023	1,018,039	(—)	1,018,039

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な商品又は役務の名称

事業区分	主要商品又は役務の名称
カラオケ事業	カラオケボックス店舗の運営
カーブス事業	フィットネスフランチャイズの運営 フィットネスクラブ店舗の運営

3. 従来、事業の種類別セグメント情報は、カラオケ事業の売上高及び営業利益が全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため記載を省略しておりましたが、第2四半期連結会計期間より、連結子会社である(株)カーブスジャパンの損益が連結されることになったことに伴い、事業の種類別セグメントをカラオケ事業、カーブス事業に区分して開示しております。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間（自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成20年9月1日 至平成21年5月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結会計期間（自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自

平成20年9月1日 至平成21年5月31日)
海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間(平成19年9月1日～平成20年5月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年8月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	9,981
II 売上原価	8,379
売上総利益	1,602
III 販売費及び一般管理費	1,210
営業利益	391
IV 営業外収益	66
V 営業外費用	39
経常利益	418
VI 特別利益	18
VII 特別損失	16
税金等調整前四半期純利益	420
税金費用	194
四半期純利益	226